

# 今地球の温暖化が深刻です だからこそエコドライブ！

基本編

## エコドライブとは？



車をかしく利用し、かしく運転するということ。  
具体的には、環境性・経済性・安全性をトータルに  
高める使い方をすること。  
「スマートドライブ」ともいいます。



環境性



経済性



安全性

エネルギー消費の少ない走り方の基本について、  
わかりやすくするために自転車で考えてみましょう。  
イメージができたなら、それを自動車の基本操作に  
応用してみましょう。  
ペダルをこぐことは、自動車ではエンジンの回転に  
相当します。

## かしく運転！



ゆっくりこぎ出す



一定の速度でこぐ



惰性で進む



ペダルから足を離す

発進

巡航

減速

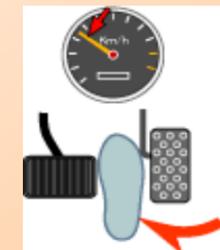
停止

ゆっくり加速

一定の速度で走行

早めにアクセルオフ

アイドリングストップ!



## かしく利用！

### ①近くへは自転車で行く！

車を動かすより体を動かせば  
燃料代が節約できる上に、健康的です。

### ②できるだけ相乗りする！

別々に行動するよりも、断然お得です。

### ③公共交通機関を利用する！

公共交通機関とマイカーの上手な使い分けをすれば  
効率的です。

### ④計画的なドライブをする！

早めに出発したり、交通情報をチェックして渋滞を  
避けたりすれば、燃費と時間が節約できます。

## 発進・加速

ゆっくり発進・  
加速は燃費向上  
に効果的！



# 気持ちにゆとりを！

より低いエンジン回転数でゆっくりと加速すると、早くギアをシフトアップできるため、発進時の燃料消費を少なくすることができます。

## 定速走行

波状運転をする  
と燃費が悪化  
します！



# 3080円お得！

頻繁に加速・減速を繰り返す波状運転は、燃料をより多く消費します。加速・減速をできるだけ少なくする定速走行は、省エネの効果が大きなテクニック。定速で10000kmを走ると、波状運転に比べて約22リットルのガソリンの節約に！

# これからの行楽はエコドライブでいかが？

## テクニック編No.1

## 惰性走行

惰性走行を積極  
的に活用すると  
燃費が向上！



# なすがままに...

アクセルが踏まれていない惰性走行は、燃料消費量が非常に少なくなります。赤信号やカーブの手前で、早めにアクセルから足を離して惰性走行をすれば、ガソリンの大幅な節約に！

## アイドリング ストップ

短時間でも停車  
時はエンジンを  
オフ！



# 7140円お得！

アイドリング時にも、自動車は絶え間なくガソリンを浪費しています。停車時にエンジンを切ることは、もっとも確実な燃料節約法。1日に10分間のアイドリングを止めると、1年間では約51リットルのガソリンの節約に！

## 荷物重量

積みっぱなしの荷物は重量増を招きます！



# 350円お得！

トランクなどに荷物が積みっぱなしになっていると、その分だけ自動車が重くなってしまうため、燃費を悪化させてしまいます。たとえばゴルフバッグ（約10kg）の積みっぱなしをやめると、1年間で約2.5リットルのガソリンの節約に！

## 空気抵抗

キャリアは高速での燃費を悪化させます！



# 13%の燃費向上！

自動車の屋根に物を積むと、走行中に自動車を取り巻く空気の流れが乱れ、大きな空気抵抗となります。スキーから帰った後、板を外したキャリアをつけたままにすると、平均で約13%の燃費悪化を招きます。使わない場合は外しましょう！

# これからの行楽はエコドライブでいかが？

テクニック編No.2

## 空気圧

タイヤの空気圧で燃費が変わります！

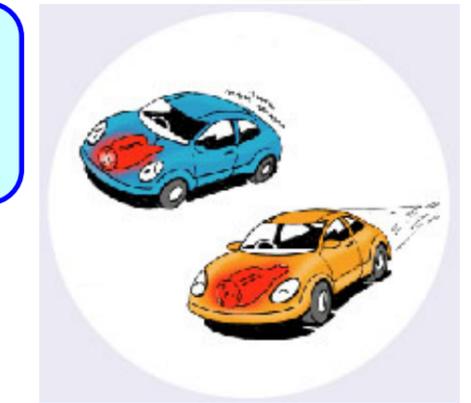


# 3220円お得！

タイヤの空気圧は燃費に大きく影響します。タイヤ空気圧を適正に保ちましょう。空気圧が適正值で走行すると、0.5kgf/cm<sup>2</sup>減ったタイヤと比べて、年間約23リットルのガソリンの節約に！

## 暖機運転

寒い朝でも暖機運転はいりません！



# 時間も節約！

現在の自動車は、技術の進歩により、昔のような長時間の暖機運転の必要はありません。冬でもすぐに走り出した方が燃費は良くなります。ただし、エンジン水温計が振れるまでは、アクセルをあまり深く踏み込まないように運転しましょう。

ガソリンはすべて140円/1リットルで換算しています